



アカシア俳句会



令和六年

春季俳句会「句報」

春の季語を含む作品一〜五句

「選句」赤文字・特選

「投句」作品

作者

展 以 由 博	以 亘 博	展 光 秀	以	元	展 亘 福 恵 由	福	展 以	亘 秀	展 福 恵 秀	亘 以														
そこここに地蔵おわして桜散る	山肌をピンクに染めて山笑ふ	梅林の花に埋もれて友の声	梅林の小径辿れば風抜ける	春場所や力士金星背なの土	桜咲く褒章光る師を偲ぶ	春に嫁植えた梅ノ木共に老い	日々芽吹く木々でさえずる小鳥たち	春祝い米寿も祝う大家族	立春や米寿の便り字がパズル	福祉バス寡黙の民や花くぐる	乱漫の皇居は招くテニス会	白魚の回らぬ皿に舌鼓	原稿を書き終えホツと土竜塚	人気者賭博一変花と散る	二日酔い菜の花透かす電車道	目蓋越しあの日そのままのサクラサク	所在なき春手袋に陽の光	子らの声観望会の朧月	ペン置きて龍馬と語れ菜の花忌	湖の花片かきわけかいつぶり	幼などき吾も遊ぶだ八十八夜	目を合せ湯のみ片手に桜餅	蓬の芽吾にもそつと春を告げ	退院日背筋のぼして春一番
加龍恵子	加龍恵子	加龍恵子	加龍恵子	加龍恵子	都 福仁	都 福仁	都 福仁	都 福仁	都 福仁	戸堂博之	戸堂博之	戸堂博之	戸堂博之	戸堂博之	藤井光正	藤井光正	藤井光正	藤井光正	藤井光正	佐藤茂弘	佐藤茂弘	佐藤茂弘	佐藤茂弘	佐藤茂弘

秀	元由光	由博	元	惠	元	惠	由光	亘	光秀	福	惠元博光	惠	
古き家の梅の古木の咲き競ふ	鶯宿梅床しき故事に二度見せり	花吹雪呆(ほう)けし友に会ひに行く	花筏流れのままに流れけり	正客の花衣にも花の影	妻と子の四人失う能登の春	くちあらそい昼には消えし春の雪	バレンタインチョコレート買う夕まぐれ	オツペンハイマール科学は幸か花吹雪	能登の子ら笑顔はじけて卒業す	花散るや三丘健児の鎮魂碑	めぐりきて花は咲けども友いずこ	一食も料理もできず春の暮	卒業や内緒のピアス孫破顔
中野亘子	中野亘子	中野亘子	中野亘子	中野亘子	山家由紀	山家由紀	山家由紀	山家由紀	山家由紀	西村敏治	西村敏治	西村敏治	西村敏治

【選句についてお願い】

- 一、お一人五句選句して頂き、その「句番号」をお寄せください。
- 二、選句の内「特選句」一句の番号の後ろに「特選」と記入して下さい。
- 三、「特選句」について、五〇文字以内で句評をお願いします。

投句、選句者氏名

() 内は選句者略号(五十音順)

網 佑子(佑)、岩崎悦子(岩)、加龍惠子(惠) 楠野圭子(圭)、佐藤茂弘(茂)、戸堂博之(博)
 中野亘子(亘)、西村敏治(敏)、野本展子(展)、藤井光正(光)、前田秀一(秀)、三木徳彦(徳)
 都 福仁(福)、元永悦子(元)、山家由紀(由)、吉澤志保子(志)、吉田以登(以)

編集人 前田秀一